

戦略5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく

計画期間 令和6年度～令和10年度

主管部局 企画政策部 関係部局 経済部

【戦略実現に向けた施策の方向性】

- スマートフォンなどを用いて、自身の健康の保持・増進を図る取組を推進します。
- 江別市の魅力である「食」と「農」を守り、育てるため、負担軽減などにつながるAI等の先端技術の導入を推進します。
- デジタル技術は、様々な分野での活用が想定されることから、時代の変化に応じて、積極的に取り入れ、豊かな暮らしをつくれます。
- 市民がデジタル化の便利さを実感できるように支援します。

【戦略を構成する具体的施策の事業費推移】

名 称	実績				予算額					
	—		—		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
(1) デジタル技術の活用		千円		千円	14,692	千円	10,596	千円		千円
(2) 農業経営の安定化		千円		千円	96,496	千円	175,787	千円		千円
計		千円		千円	111,188	千円	186,383	千円		千円

戦略実現に向けての数値目標**◆数値目標（1） デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）**

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
19.4						25.0

◆数値目標（2） 日常生活にデジタル技術を取り入れている市民割合（単位：％）

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
86.8						90.0

具体的施策 (1) デジタル技術の活用

デジタル技術やＩＣＴ（情報通信技術）などを活用し、市民サービスの充実や行政事務の生産性の向上を図るとともに、市民にとって、快適で豊かな暮らしを営むことのできる生活環境の実現を目指します。

◆重要業績評価指標（KPI） e ダイアリーのユーザー数（累計）（単位：人）

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
384						20,000

<令和7年度の方針>

令和5年度に策定した江別市DX（デジタルトランスフォーメーション）推進方針の基本方針である「新たな価値創造」に基づき、デジタル技術を活用した地域社会や行政を取り巻く課題の解決に取り組んでいきます。

そのため、これまで市と北海道情報大学で連携して推進してきた「食と健康の臨床試験」や「健康カード」などの仕組みをデジタル化し、令和4年度に構築した生涯健康プラットフォームを利用しながら、多くの市民が手軽に健康管理などができるように生涯健康プラットフォーム実装協議会と連携しながら、支援していきます。

また、健康管理にあたっては、スマートフォン内に実装される高い安全性の高いデジタルIDを利用しながら、独自に開発したスマートフォンアプリを使って個別最適化されたサービス提供することで、デジタル技術を活用した市民の健康管理を進めます。

<課題>

- 市民がデジタル化の便利さを実感できる市民サービスの検討が必要
- デジタル技術を活用した健康管理の更なる普及促進策の検討が必要
- eダイアリー等の利用促進に係る市民PRが必要

<取組の概要>

- ・行政手続等のデジタル化を実施し、市民の利便性の向上を図る
- ・北海道情報大学等と連携しながら、生涯健康プラットフォーム推進事業を実施
- ・市ホームページやイベント出展などを通じて、市民PRを実施

事務事業	成果指標	令和6年度（予算）	令和7年度（予算）		備考
生涯健康プラットフォーム推進事業	地域生活の幸福度割合（健康状態）	82 %	83 %		
	eダイアリーを活用した健康生活への満足度	- %	74 %		
	事業費	14,692 千円	10,596 千円	千円	

具体的施策 (2) 農業経営の安定化

農業の担い手の育成・確保をはじめ、経営規模の拡大や、収益性の高い農産物の生産、デジタル技術の活用などにより、生産性の高い安定した農業経営を推進します。

◆重要業績評価指標 (KPI) 補助金交付件数のうち、スマート農業機械等対象分 (累計) (単位: 件)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
0						5

<令和7年度の方針>

第5次江別市農業振興計画の展開項目の一つである「農業経営の安定化」に向けて、農業の担い手の育成・確保をはじめ、経営規模の拡大や、収益性の高い農産物の生産、デジタル技術の活用などにより、生産性の高い安定した農業経営を推進します。

生産性の高い安定した農業経営を実現するため、本市における最適なデジタル技術を活用したスマート農業に関する調査検討を進めるとともに、スマート農業機械の導入支援により、地域実装を促進します。また、道央農業振興公社やJA道央等と連携した担い手の育成及び国・道の制度を活用した新規就農者への各種支援を行います。

<課題>

- スマート農業に係る技術は多岐に渡ることから、当市の少量多品目という営農環境に最適な手法の検討が必要
- RTK基地局等の通信環境整備の検討が必要
- 通信環境整備のための事業規模の検討が必要
- 農業分野以外の多用途活用についての検討が必要
- スマート農業に係る農業機械の導入に係る支援策の検討が必要

<取組の概要>

- ・スマート農業に係る利用ニーズ調査を実施
- ・RTK基地局等の通信環境の調査を実施
- ・実機を用いた通信環境の改善に係る試行調査を実施
- ・防災や除雪など農業分野以外の多用途活用について検討を進める
- ・ワークショップによる農業者との合意形成を図る
- ・スマート農業機械導入費用の一部を補助する

事務事業	成果指標	令和6年度(予算)	令和7年度(予算)		備考
地域農業経営安定推進事業	補助金交付件数のうち、スマート農業機械等対象分	1 件	1 件		
	事業費	65,496 千円	135,787 千円	千円	
スマート農業推進検討事業	検討結果報告書	1 式	1 式		
	事業費	31,000 千円	36,000 千円	千円	
スマート農業機械導入促進事業	スマート農業機械導入件数		20 件		
	事業費	千円	4,000 千円	千円	